

## 工事費等調査報告書

## 1. 調査概要

依頼番号	飯国-管二-15
------	----------

業務名称	平成29年度 単価契約 長野県内建設資材価格等調査業務
事務所名	飯田国道事務所
工事件名	-
調査実施期間	別紙参照
調査対象業者	施工実績を有する業者
調査方法	書面調査及び電話による聞き取り調査

## 2. 調査結果

[illegible]

歩掛表－1 小口径場所打杭 削孔工[施工歩掛]  
鋼管径 φ216.3 L=18.6m

10本当り							
名称	規格	単位	数量	摘要	諸 1	雑 2	費 3
土木一般世話役		人	14.556		●		
特殊作業員		人	43.668		●		
普通作業員		人	29.112		●		
STMPマシン運転	SM401	日	14.556	単価表-1	●		
高圧コンプレッサー DIS200VPS級運転	圧1.27Mp	日	14.556	単価表-2	●		
ダウンザホールハンマー損料	6インチ	日	14.556	工法特殊機械	●		
トラッククレーン（ラチスジブ型・油圧伸縮ジブ型）賃料	4.9t吊 オペレータ付	日	14.556	物価資料	●		
削孔材料損耗費	岩塊玉石	m	150.00	単価表-4			
削孔材料損耗費	砂質土	m	35.62	単価表-5			
諸雑費1		%	31.00				

[条件]  
1. 諸雑費は、リングロストビット、削孔用ガイド管および処理費、削孔機の足場材、削孔機およびコンプレッサーの工具類等（削孔材料損耗費は除く）の費用であり、労務費、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

歩掛表－2 小口径場所打杭 削孔工[施工歩掛]  
鋼管径 φ216.3 L=21.2m

10本当り					
名称	規格	単位	数量	摘要	諸 雑 費 1 2 3
土木一般世話役		人	17.391		●
特殊作業員		人	52.174		●
普通作業員		人	34.783		●
STMPマシン運転	SM401	日	17.391	単価表-1	●
高圧コンプレッサー DIS200VPS級運転	圧1.27Mp	日	17.391	単価表-2	●
ダウンザホールハンマー損料	6インチ	日	17.391	工法特殊機械	●
トラッククレーン（ラチスジブ型・油圧伸縮ジブ型）賃料	4.9t吊 ホール付	日	17.391	物価資料	●
削孔材料損耗費	岩塊玉石	m	175.00	単価表-4	
削孔材料損耗費	砂質土	m	36.71	単価表-5	
諸雑費1		%	27.00		

[条件]  
1. 諸雑費は、リングロストビット、削孔用ガイド管および処理費、削孔機の足場材、削孔機およびコンプレッサーの工具類等（削孔材料損耗費は除く）の費用であり、労務費、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

歩掛表-3 小口径場所打杭 グラウト注入工[施工歩掛]

					10m3当り		
名称	規格	単位	数量	摘要	諸 1	雑 2	費 3
土木一般世話役		人	4.167		●		
特殊作業員		人	12.500		●		
普通作業員		人	8.333		●		
バッカー装置損料	φ216.3	日	4.167	工法特殊機械	●		
トラッククレーン（ラチスジブ型・油圧伸縮ジブ型）賃料	4.9t吊　ωプレート付	日	4.167	物価資料	●		
ディーゼル発電機（低騒音型）運転	定格容量60kVA（排出ガス1〜3次対策型 含）	日	4.167	単価表-3	●		
諸雑費1		%	29.00				

[条件]

1. 諸雑費は、流量計、給水排水用ポンプ、水槽の賃料及び運転経費、消耗材料、グラウトポンプ・グラウトミキサの損料等の費用であり、労務費、機械賃料及び機械運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

步掛表一4 小口径場所打杭 杭頭处理工[施工步掛]

鋼管徑  $\phi 216.3$ 

					10本当たり		
名称	規格	単位	数量	摘要	諸 1	雑 2	費 3
土木一般世話役		人	1.429		●		
溶接工		人	1.429		●		
普通作業員		人	2.857		●		
トラッククレーン（ラチスジブ型・油圧伸縮ジブ型）賃料	4.9t吊 オペレータ付	日	1.429	物価資料			
諸雑費1		%	10.00				

〔条件〕  
 1. 諸雑費は、切断機・溶接機損料及び運転経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

歩掛表ー5 小口径場所打杭 プラント設置撤去[施工歩掛]

1回当り					
名称	規格	単位	数量	摘要	諸 雑 費 1 2 3
土木一般世話役		人	4.000		●
特殊作業員		人	8.000		●
普通作業員		人	12.000		●
ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型）賃料	25t吊 ホーク付(排1~3次、低騒音 含)	日	4.000	物価資料	●
諸雑費1		%	29.00		

[条件]  
1. 諸雑費は、仮設材および現場内小運搬等の費用であり、労務費、機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。



單價表-4 削孔材料損耗費  
岩塊玉石

10m当り

名称	規格	単位	数量	摘要	諸 雑 費		
					1	2	3
リングロストビットシステム	鋼管径 φ 216. 3mm用	組	0. 050	調査価格			
ドリルパイプ類	鋼管径 φ 216. 3mm用	m	0. 100	調査価格			
ガイドスリーブ	鋼管径 φ 216. 3mm用	個	0. 030	調査価格			

[条件]

單價表-5 削孔材料損耗費  
砂質土

10m当り

名称	規格	単位	数量	摘要	諸 雑 費		
					1	2	3
リングロストビットシステム	鋼管径 φ 216. 3mm用	組	0. 028	調査価格			
ドリルパイプ類	鋼管径 φ 216. 3mm用	m	0. 030	調査価格			
ガイドスリーブ	鋼管径 φ 216. 3mm用	個	0. 015	調査価格			

[条件]

## 1. 調査概要

依頼番号	飯国-管二-15
------	----------

業務名称	平成 2 9 年度 単価契約 長野県内建設資材価格等調査業務
事務所名	飯田国道事務所
工事件名	-
調査実施期間	別紙参照
調査対象業者	施工実績を有する業者
調査方法	書面調査及び電話による聞き取り調査

## 2. 調査結果

[illegible]



歩掛表-3 鋼矢板圧入[施工歩掛]							
180<Nmax≤250[硬質地盤用]45H型 L=14.5m							
名称	規格	単位	数量	摘要	10枚当り 諸 雑 費		
					1	2	3
土木一般世話役		人	4.170		●		
特殊作業員		人	4.170		●		
とび工		人	8.330		●		
硬質地盤対応型圧入機運転	ハット形鋼矢板用	日	4.170	単価表-1	●		
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 50~51t吊	日	4.170	単価表-2	●		
諸雑費1		%	27.000				

 $180 < N_{\max} \leq 250$  [硬質地盤用] 45H型  $L=14.5\text{m}$ 

10枚当り

名称	規格	単位	数量	摘要	諸 雑 費		
					1	2	3
土木一般世話役		人	4.170		●		
特殊作業員		人	4.170		●		
とび工		人	8.330		●		
硬質地盤対応型圧入機運転	ハット形鋼矢板用	日	4.170	単価表-1	●		
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 50~51t吊	日	4.170	単価表-2	●		
諸雑費1		%	27.000				

**[条件]**

1. 諸雑費は、溶接棒、電気溶接機、ケーシング、オーガスクリュー、オーガヘッド、オーガビット損料、排出土処理用のバックホウ運転経費に関する費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

步掛表一4 ガス切断(鋼矢板)[施工步掛]

45H型

10箇所当り

名称	規格	単位	数量	摘要	諸 1	雑 2	費 3
溶接工		人	2.000		●		
普通作業員		人	2.000		●		
諸雑費1		%	0.600				

**[条件]**

1. 諸雑費は、酸素、アセチレン等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。



步掛表一7 油压式杭压入引拔機据付・解体[施工步掛]

压入 ( $50 < N_{\max} \leq 600$ ) 45H型

1回当り

名称	規格	単位	数量	摘要	諸 雑 費		
					1	2	3
土木一般世話役		人	1.100				
特殊作業員		人	1.100				
とび工		人	2.190				
硬質地盤対応型圧入機運転	ハット形鋼矢板用	日	0.590	単価表-1			
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 50~51t吊	日	0.900	単価表-2			
端数処理		式	1.000				

[条件]

## ハット形鋼矢板用

[条件]

油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 50～51t吊

[条件]

## 1. 調査概要

依頼番号	飯国-管二-15
------	----------

業務名称	平成29年度 単価契約 長野県内建設資材価格等調査業務
事務所名	飯田国道事務所
工事件名	-
調査実施期間	別紙参照
調査対象業者	施工実績を有する業者
調査方法	書面調査及び電話による聞き取り調査

## 2. 調查結果

[illegible]

歩掛表-1 場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) [施工歩掛]

砂充填杭(H形鋼) φ450 地質土・軟岩 : 8.5m

1本当り

名称	規格	単位	数量	摘要	諸 1	雑 2	費 3
土木一般世話役		人	2.07		●	●	
特殊作業員		人	4.14		●	●	
普通作業員		人	4.14		●	●	
(せん孔・はつり機械) ボーリングマシン運転	大口径 30kW級	日	1.85	単価表-1	●	●	
ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 賃料	16t吊 オペレータ付 (排1・2次、低騒音 含)	日	0.57	物価資料			
諸雑費1		%	23.00				
諸雑費2		%	35.00				

## [条件]

- 諸雑費1は、大口径ボーリングマシンの足場材、注入管、やぐら及び水槽損料、グラウトポンプ (試錐ポンプ)、サンドポンプ、ベントナイトミキサ、マッドスクリーン、給水ポンプ損料及び燃料費、ベントナイトの材料費、電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費 (補助機械を除く) の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
- 諸雑費2は、大口径ボーリングマシンに使用するビット及びロッド等の費用であり、労務費、機械損料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

歩掛表-2 場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) [施工歩掛]

砂充填杭(H形鋼) φ450 地質土・軟岩 : 9.0m

1本当り

名称	規格	単位	数量	摘要	諸 1	雑 2	費 3
土木一般世話役		人	2.14		●	●	
特殊作業員		人	4.28		●	●	
普通作業員		人	4.28		●	●	
(せん孔・はつり機械) ボーリングマシン運転	大口径 30kW級	日	1.92	単価表-1	●	●	
ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 賃料	16t吊 オペレータ付 (排1・2次、低騒音 含)	日	0.57	物価資料			
諸雑費1		%	23.00				
諸雑費2		%	35.00				

## [条件]

- 諸雑費1は、大口径ボーリングマシンの足場材、注入管、やぐら及び水槽損料、グラウトポンプ (試錐ポンプ)、サンドポンプ、ベントナイトミキサ、マッドスクリーン、給水ポンプ損料及び燃料費、ベントナイトの材料費、電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費 (補助機械を除く) の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
- 諸雑費2は、大口径ボーリングマシンに使用するビット及びロッド等の費用であり、労務費、機械損料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

歩掛表ー3 H鋼杭撤去[施工歩掛]

H300型 撤去長<4.0m

10本当り

名称	規格	単位	数量	摘要	諸 1	雑 2	費 3
土木一般世話役		人	0.10				
特殊作業員		人	0.20				
普通作業員		人	0.20				
ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型）賃料	16t吊 オペレータ付（排1・2次、低騒音 含）	日	0.20	物価資料			
端数処理		式	1.00				

[条件]

1. 本歩掛にはガス切断手間を含まない。

歩掛表ー4 上部工撤去[施工歩掛]

RC床版 50tクレーンによる撤去

10 t 当り

名称	規格	単位	数量	摘要	諸 1	雑 2	費 3
土木一般世話役		人	0.67		●		
特殊作業員		人	2.67		●		
普通作業員		人	1.33		●		
ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型）賃料	50t吊 オペレータ付（排1・2次、低騒音 含）	日	0.67	物価資料			
諸雑費1		%	10.00				
日当り施工量		t	15.00				

[条件]

1. 諸雑費は、ワイヤ、ガス切断器、酸素、アセチレン等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

歩掛表－5 床版切断工〔施工歩掛〕

床版厚29cm

10m当り

名称	規格	単位	数量	摘要	諸 雑 費		
					1	2	3
土木一般世話役		人	0.59		●		
特殊作業員		人	1.18		●		
普通作業員		人	1.18		●		
トラック運転	クレーン装置付 ベーストラック4t級吊能力2.9t	日	1.63	単価表－2			
コンクリートカッタブレード	自走式切断機用 ブレード径75cm 30インチ	枚	0.71	物価資料			
諸雑費1		%	18.00				
日当り施工量		m	17.00				

〔条件〕

1. 諸雑費は、コンクリートカッタ、水タンク、ホース、ほうき等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

単価表-1 (せん孔・はつり機械) ボーリングマシン運転  
大口径 30kW級

名称	規格	単位	数量	摘要	1日当り 諸雑費		
					1	2	3
(せん孔・はつり機械) ボーリングマシン 損料	大口径 30kW級	h	6.00	0601-120-300-001			
諸雑費		式	1.00				

[条件]

単価表-2 トラック運転

クレーン装置付 ベーストラック4t級吊能力2.9t

名称	規格	単位	数量	摘要	1日当り 諸雑費		
					1	2	3
運転手 (特殊)		人	1.00				
燃料費	石油製品 軽油 パトロール給油 2～4 K L 積載車 給油	L	33.00				
トラック 損料	クレーン装置付 ベーストラック4t級吊能力2.9t	供用日	1.23	0302-021-043-001			

[条件]

## 工事費等調査報告書

## 1. 調査概要

依頼番号	飯国-管二-15
------	----------

業務名称	平成29年度 単価契約 長野県内建設資材価格等調査業務
事務所名	飯田国道事務所
工事件名	-
調査実施期間	別紙参照
調査対象業者	施工実績を有する業者
調査方法	書面調査及び電話による聞き取り調査

## 2. 調査結果

[illegible]

(価格条件)

步掛表一1 頭部連結材設置[施工步掛]

					10 t 当り		
名称	規格	単位	数量	摘要	諸 1	雑 2	費 3
土木一般世話役		人	1. 60		●		
とび工		人	1. 60		●		
溶接工		人	1. 60		●		
普通作業員		人	3. 20		●		
ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型）賃料	25t吊 しゃく付（排1〜3次、低騒音 含）	日	1. 60	物価資料			
諸雑費1		%	5. 00				

[条件]

1. 諸雑費は、溶接棒、アセチレンガス、酸素、溶接機損料、溶接機運転経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

步掛表-2 頭部連結材撤去[施工步掛]

					10 t 当り		
名称	規格	単位	数量	摘要	諸 1	雑 2	費 3
土木一般世話役		人	1.00		●		
とび工		人	1.00		●		
溶接工		人	1.00		●		
普通作業員		人	2.00		●		
ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型）賃料	25t吊 ホーク付(排1〜3次、低騒音 含)	日	1.00	物価資料			
諸雑費1		%	6.00				

[条件]

1. 諸雑費は、アセチンガス、酸素、切断器具に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

歩掛表－3 山形鋼設置[施工歩掛]

名称	規格	単位	数量	摘要	10 t 当り		
					諸 1	雑 2	費 3
土木一般世話役		人	1.60		●		
とび工		人	1.60		●		
溶接工		人	1.60		●		
普通作業員		人	3.20		●		
ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型）賃料	25t吊 ホーク付(排1~3次、低騒音 含)	日	1.60	物価資料			
諸雑費1		%	5.00				

## [条件]

1. 諸雑費は、溶接棒、アセチレンガス、酸素、溶接機損料、溶接機運転経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

歩掛表－4 山形鋼撤去[施工歩掛]

名称	規格	単位	数量	摘要	10 t 当り		
					諸 1	雑 2	費 3
土木一般世話役		人	0.80		●		
とび工		人	0.80		●		
溶接工		人	0.80		●		
普通作業員		人	1.60		●		
ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型）賃料	25t吊 ホーク付(排1~3次、低騒音 含)	日	0.80	物価資料			
諸雑費1		%	4.00				

## [条件]

1. 諸雑費は、アセチレンガス、酸素、切断器具に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

歩掛表－5 コンクリートアンカーボルト設置〔施工歩掛〕

コンクリート削孔含む

100本当たり

名称	規格	単位	数量	摘要	諸 雑 費		
					1	2	3
土木一般世話役		人	0.90		●		
特殊作業員		人	2.70		●		
普通作業員		人	1.80		●		
諸雑費1		%	2.00				

〔条件〕

1. 諸雑費は、ハンマドリル、発動発電機の損料、燃料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。